

## インフォシス、新型コロナウイルス後の米国の労働者を再教育し、雇用ニーズに応える革新的なソリューション「Reskill and Restart」を発表

インフォシスが率いるコンソーシアムは、pymetrics、Merit America、Per Scholas、Revature および Woz Enterprise で構成されており、Infosys Wingspan を活用して従業員と雇用主を繋ぐ無料のオンライン・プラットフォームを構築し、求職者向けのトレーニングも提供します。

**ニューヨーク (米国) 2020 年 7 月 22 日:** 次世代のデジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーである**インフォシス** (NYSE: INFY) は本日、公正な人材マッチングのリーダーである pymetrics と提携し、トレーニング・パートナーの Merit America、Per Scholas、Revature および Woz Enterprise が参加するコンソーシアムを発表しました。コンソーシアムは、Infosys Wingspan と pymetrics の AI による人材マッチング・プラットフォームを活用し、米国における新型コロナウイルスの脅威により高まる再教育および雇用のニーズに応えます。

Infosys Wingspan を活用した [Reskill and Restart](#) は、求職者を適性およびスキル評価から、精選された職務固有のスキル・トレーニング、そして求人とのマッチングへと導きます。パートナーのコンソーシアムは、様々な業界やワークストリームにおける従来の職務から将来のデジタルや運用職へと人材が移行するための新たな道筋を築いてきました。

また、この統合マルチ・ステークホルダー・プラットフォームでは、迅速な職務固有の再教育を実施し、規模を拡大している雇用主が適切なマッチングを求めて、利用可能な人材プールを確認し雇用することも可能になります。

**インフォシス プレジデント ラビ・クマール**は、次のように述べています。「当社は、常に生涯学習に投資し、推進してまいりました。新型コロナウイルスの世界的流行による経済的影響を受け、求職者と雇用主の双方にとって、徹底的な再教育がさらなる緊急の優先事項となっています。スキル評価、トレーニングおよび実習分野のリーダーと提携し、当社の Wingspan プラットフォームを活用して、米国の人々がスキルを伸ばし、適切な雇用を見つける機会を提供できることを大変嬉しく思っています。当社は米国での雇用機会の創出に特に注力しており、このソリューションは、米国の労働者と米国経済に対する当社のさらなる決意を明示するものです。」

**pymetrics 最高経営責任者兼共同創業者 フリーダ・ポツリ博士**は、次のように述べています。「女性や有色人種が持つ職務は、新型コロナウイルスの影響を不相応に受けています。当社は、この連合を彼らが仕事に復帰するための条件を平等にする絶好の機会とみています。当社の人材マッチング・エンジンは、個人の認知的、感情的、社会的適性を見出し、Burning Glass との統合を通じてスキル強化の機会を明らかにし、その理解をパーソナライズされたトレーニングおよび職務の提案と結びつけます。このアプローチは、家系ではなく潜在能力に焦点を当てているため、現在市場に出回っている他のアプローチとは異なり、このように解雇された不利な立場にある従業員の仕事復帰を支援する手段となりうると考えています。」

**Revature 最高経営責任者 アシュウィン・パラス氏**は、次のように述べています。「当社ファミリーは、インフォシスの Reskill and Restart プログラムと提携して、全米の人々やコミュニティに投資することを光栄に思います。経済の最も

活力のある部分に参加する機会をすべての人々に対して創出することは、国家として共同の優先事項であるべきであると考えます。米国の一流企業で活用されている当社の国際的レベルのトレーニングは、これらの人々に人生を一変させるような職業選択の機会を提供すると確信しています。」

**Per Scholas 最高経営責任者 プリーニオ・アヤラ氏**は、次のように述べています。「スキル・トレーニング組織は、新型コロナウイルスの世界的流行による経済的損失から企業が回復するための鍵となります。求職者が新型コロナウイルス後のデジタル・エコノミーで競うために必要な需要の高いスキルを開発するのに必要なリソースを有することは極めて重要です。当社のインフォシスとのパートナーシップは、これらのスキルを構築するための独自のプラットフォームを従業員に提供し、雇用主には安定した人材パイプラインを提供します。」

**Woz U の一部門 Woz Enterprise 最高経営責任者 ジェイコブ・メイヒュー氏**は、次のように述べています。「当社は、トレーニングをどのように実施できるかを再考する革新的な方法を探るため、インフォシスなどのパートナーと緊密に連携しています。米国の人々を仕事に復帰させるためには、テクノロジー関係の職に就きたいが経験が全くない人々のために、迅速なスキルアップを含むソリューションを提供する必要があります。これは、当社が開発している実習プログラムとトレーニング・ソリューションの要です。ビジネス・ニーズに従い、人々を仕事に復帰させるだけでなく、これまで以上にはるかに多様な人材を提供する、迅速に進化する不可欠なテクノロジー要員のパイプラインを構築する当社の中核的な使命を果たしています。」

**Merit America 共同最高経営責任者 コナー・ディエマンド・ヤーマン氏**は、次のように述べています。「過去数ヶ月で、何千万人もの米国人が失業保険を申請しました。今日の課題は、米国の人々を仕事に復帰させることだけではありません。経済の回復に伴い、より公平な未来を築くために、より給与の高い、より回復力の高いキャリアへの道を築くことです。当社は、低賃金で働く米国の人々に規模に応じた高度なキャリアを準備し、この苦難の時にインフォシスがさらに力を入れていることを非常に嬉しく思っています。このパートナーシップを通じて、低所得の成人に雇用者の需要に沿った不況に強いキャリアの準備をさせたいと考えています。」

Infosys Wingspan プラットフォームは、pymetrics の AI による人材マッチング・プラットフォームを活用し、Burning Glass を通じて生まれつきの適性評価やスキル・ギャップ分析、コンソーシアム・パートナーからのトレーニング資料、当社独自のデジタル・プログラムやコースを提供し、求職者に総合的な体験を提供します。これらのコースにより、新型コロナウイルスの影響を受けた求職者は今日の求人市場において需要の高いスキルを見出し、習得することが可能となります。また、プラットフォームにより、すべての業界の米国企業が人材を発掘、雇用し、既存従業員の再教育の機会を検討することができます。

コンソーシアムおよび Riskill and Restart プラットフォームの詳細は、[infy.com/reskillrestart](https://infy.com/reskillrestart) をご覧ください。

## 当社について

インフォシスは、次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーです。当社は 46 カ国の顧客のデジタル変革を実現しています。当社は 46 カ国の顧客のデジタル変革を実現しています。過去 40 年間グローバル企業のシステムや業務を管理してきた経験に基づき、お客様のデジタル変革を専門的に誘導します。AI による変更実行の優先順位化、アジャイル・デジタルによるビジネス強化、優れたサービス提供により、お客様に高い評価をいただいています。当社は常に学習し、イノベーション・エコシステムのデジタル・スキル、専門知識、アイデアを活用して継続的な改善を実現しています。

詳しくは、[www.infosys.com](http://www.infosys.com) をご覧になり、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように企業のデジタル改革を支援しているかご確認ください。

### セーフハーバー条項

本リリースに記載されている当社の将来的な成長の予測、財務的な見通しおよび新型コロナウイルスの当社従業員、お客様およびステークホルダーに対する影響を回避するため計画に関する記述の一部は、1995年私募証券訴訟改革法の『セーフハーバー条項』に該当する情報が含まれており、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。これらの記述に関連するリスクや不確定要素には、新型コロナウイルスとその蔓延の抑制を図る政府などの措置の効果、インド、米国、その他の世界各国における不況または景気後退に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済状況の変化、収益の変動、為替レートの変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技術をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界や係争中の訴訟や政府の調査の結果に影響を与える経済情勢などが含まれます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2019年度会計年度（2020年3月31日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、追加で書面および口頭により将来の展望を随時発表する場合がありますが、法令で定められている場合を除き当社または代理人により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

### pymetrics について

[pymetrics](http://pymetrics) は、労働者が意思決定をより効率的、正確、公正に行うことができる人材マッチング・プラットフォームです。行動科学が支援するエクササイズを使用して、個人の認知的、社会的、感情的な特性を測定します。また、家系ではなく潜在能力に基づき、適切な機会にマッチングするデータ駆動型アプローチを使用しています。倫理的で監査済みの AI を活用したインサイトと推奨は、雇用主に正確で実用的な情報を提供し、雇用からインターナル・モビリティまで、人材のライフサイクル全体を管理します。詳しくは、[pymetrics.ai](http://pymetrics.ai) をご確認ください。

### Revature について

Revature は、企業や政府のパートナーにターンキー方式の人材獲得ソリューションを提供し、大学卒業生に無料のコーディング集中訓練プログラムを提供するテクノロジー人材開発会社です。即戦力のあるテクノロジー人材を採用、開発、導入し、企業パートナーの成功と成長を可能にします。対面、オンライン、キャンパス内でのコーディング集中訓練プログラムを通じて、多様なバックグラウンドを持つ大学卒業生が、テクノロジーの専門家としての潜在能力を発揮するための知識、スキル、能力を構築する道を切り開き、独自の人材開発戦略により、フォーチュン 500 企業、政府機関、大手システム・インテグレータなど、幅広い顧客にサービスを提供しています。詳しくは、<https://revature.com> をご覧ください。

### Per Scholas について

Per Scholas は、全国のコミュニティに前向きで実証済みの社会変革を推進する全国的な非営利団体です。厳格で無料のテクノロジー・トレーニングと専門的能力の開発を通して、失業中または不完全雇用の意欲的で好奇心旺盛な成人をテクノロジーの専門家としてキャリアを成功させるために準備させ、彼らの才能を必要としている企業への入り口を創出します。現在、アトランタ (GA)、グレーター・ボストン (MA)、グレーター・シンシナティ (OH)、コロバス (OH)、ダラス (TX)、首都圏、ニューアーク (NJ)、ニューヨーク (NY) の 8 都市でソリューションを提供しています。Per Scholas は、これまでに 9,000 人を訓練し、テクノロジー分野における持続的で人生を変えるスキルとキャリアの構築を支援してきました。

### Woz Enterprise について

WozU の部門のひとつである Woz Enterprise は、独自の学習体験プラットフォームを使用したプログラムのホワイト・ラベル化オプションを備えた、柔軟でカスタマイズ可能なキャリアに特化したトレーニング・コンテンツを提供し、資格のある従業員の採用、再トレーニングおよび維持を支援しています。ビジネスのスピードに合わせて更新されたカリキュラムにより、需要の高いテクノロジー・キャリアにおいて個人を強化し、グローバルなテクノロジー教育とビジネス標準を遵守しながらスキル・ギャップを埋める手助けをしています。従業員のスキルアップを図り、最終的にビジネスを成長させるための価値あるテクノロジー・トレーニング・ツールを提供することで、企業の目標達成を支援しています。詳しくは、[www.woz-u.com](http://www.woz-u.com) をご覧ください。

### Merit America について

Merit America は、低所得者に雇用主の要求に沿った不況に強いキャリアの準備をさせます。迅速で柔軟なプログラムは、不完全雇用や失業した成人のために機能するように設計されています。彼らは仕事、家族および社会的距離のバランスをとりながら学習することが可能です。オンデマンドのオンライン・ラーニングとコーチング、ピア・サポート（対人または仮想で提供）を組み合わせて、その分野で最も効果的で拡張可能なモデルを構築します。

初期の活動は、シュミット・フューチャーズ、ウォルマート基金、Google.org、Strada、ECMC、ドライバー・リチャーズ・カプラン基金、その他大手資金提供者から資金提供を受けています。卒業生を採用してプログラムをカスタマイズしている雇用主や、キャリアで成功した際に「ペイ・フォワード」する卒業生から収益を得ることでサステナビリティへの道を歩んでいます。初期の雇用主パートナーには、JP モルガン・チェース、アマゾン、マンパワー・グループ、スタンレー・ブラック&デッカー、インフォシスなどが含まれています。

迅速に規模を拡大し、低所得の米国人が利用しやすい道を提供する主要プロバイダになると同時に、コミュニティ・カレッジや労働組織と提携し、当社のモデルを使用してプログラムを強化していきます。今後 5 年間で総賃金を 10 億ドル引き上げることが目標としています。

### お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)